

【モン Cub 耐 規則の変更について】

クラス名の変更及び以前のあいまいな部分を明確に「可・不可」と明記致しました。

安全に走れるというのは大前提ですが、初心者への門戸を広げたいという意味で、

工夫する楽しみを残しつつ、ブローしない(しにくい)エンジンカスタマイズを念頭に規制を追加しております。

ある程度の低予算でもレースに参戦出来るという事、

そして昨今の横型 50cc エンジンの「費用負担増加」及び「耐久性を軽視した高性能化」に歯止めを掛ける意味合いもあり、

「エンジンを守る」パーツに対しては緩く、際限なく馬力を上げる方向に対しては以前と比較して絞っております。

「壊れないエンジンカスタマイズ」アマチュアライダーに配慮した「最低2シーズンはノンオーバーホールでいける」程度を目標にしております。

どうかご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

開催クラス

◆ 【モン Cub 耐久レース】 (以下モン Cub 耐)

ノーマルクラス

4st50-MC クラス

◆参加可能車両

【モンキー系車両】

8 インチホイールを採用するホンダ製のモンキー及びゴリラ(FI 車可)

※6V モンキーのマニュアルエンジン載せかえ及びモンキーBAJA、Z50R は出場可能。

※10 インチ車のモンキーR は出場不可。

【カブ系車両】

フロントサスペンションがボトムリンク式で遠心クラッチのホンダ製カブ、ヤマハ製メイト、スズキ製バーディー。

※リトルカブやボトムリンク採用車であれば OHV 車と FI 車も出場可能。

※マニュアルクラッチのスポーツカブやテレスコサス(現行や郵政カブ)などのカブは

出場不可。但しボトムリンクサスや遠心クラッチに換装してあれば出場可。

★それ以外には主催者に許可を得たモン Cub 耐に相応しい車両。

◎車両規則

[1] モン Cub 耐 全クラス共通車両規則

- (1) 前輪・後輪に独立した有効なブレーキを装備していること、又 加工は禁止とする。
- (2) 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートはとりはずすこと。ライト、ウインカー、テールランプは取り外すか、テーピングを施すこと。
- (3) ハンドルは左右に一杯切った状態で、指を挟まないよう燃料タンク、カウル等に間隔を確保させること。
- (4) レバー類、ペダル類は安全上先端を丸くすること、またそれらの変更は可。
- (5) カウルなどを取り外した場合、そのステーは取り外すこと。その際フレームの加工は不要ステーの削除のみ可。
- (6) 同一型式以外でのエンジン・フレーム交換は認めない。互換性を認め全ての部品の組み合わせが可。但しエンジンの基本性能に変化の生じる組み合わせは不可)
- (7) 取り外さなければならない物は、バックミラー、スタンド類、フロントバスケット、リアキャリア等、またヘッドライト、テールランプウインカー等は取り外すか、テーピングを施さなければならない。
- (8) オイルドレンボルト(エンジンオイル、ミッションオイル)、フィルターキャップはステンレスワイヤーを用いワイヤーロックをすること。
- (9) 燃料タンクにブリーザーパイプを取り付ける場合は、キャッチタンクを取り付けること。
- (10) オイルキャッチタンク、燃料キャッチタンクは、走行前に必ず空にしておくこと。
- (11) 車両の音量が極端に大きな車両は失格とする場合がある。最終判断は競技長の見解に委ねる。
- (12) キャブレターからのオーバーフローパイプには、キャッチタンクを取り付けること。
- (13) タイヤは一般市販タイヤを使用すること。
- (14) F/Rアスクルシャフトの固定はロックナットまたは割りピンを使用すること。アスクルシャフト及びスイングアームピポットボルトにアルミ・チタン・マグネシウムを用いることを禁止する。
- (15) 4stミッション車両は万が一のエンジントラブル時を想定し、エンジンオイル総量を受け止めることができる容量と形状を確保したアンダーカウルを装着すること。
- (16) 全てのチェーン駆動車両に関してフロント、リアスプロケットの両方に、チェーンカバーを装着すること。ただし、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合は取り外し可。
- (17) チェーンとスプロケットの噛合部にリア(ドリブン)スプロケットガードの装着を必須とする。
- (18) レース後車両に懷疑が生じた場合、車両の分解車検を行なうことがある。
- (19) その他詳細な改造許可箇所については「改造変更可否早見表」を参照の事。

【ノーマルクラス 及び 総合編】

01) カブ系車両に関し、純正でテレスコピックのフロントサスペンションを採用されている車両は「原則」不可とする(主催者が認めた場合はこれに準せず)

02) メイトやバーディーなどの2サイクルエンジンに限りマフラー以外の変更は禁止とする。(ポートタイミング、圧縮比の変更なども原則禁止、混合化によるオイルポンプの取り外しは可)

03) ノーマルクラスに関しカブ系車両に於いて、はっぴいえんどプロジェクト主催「全日本カブ耐久レース」の車両規則に準ずる、但し下記4)項のみこれに当てはまらない。

04) FI 車両に関し、ノーマルクラスに於いてサブコンの装着は不可、但し純正ノーマルマフラー装着の場合に限りこの限りではない。

【4st50-MC クラス 変更可否詳細・腰上編】

01)ピストン及びピストンリングの変更可。

02)「ホンダ純正シリンダーヘッド」であること(ホンダ純正であれば年式型式問いません)

但しFI用のシリンダーヘッドに限りキャブ腰下への流用不可。

03)カムシャフトの変更可、但し一般入手可能な市販品に限定、カム山の加工は顕著に性能差が出る可能性がある為原則不可とする。

04)カムチェーンの変更可。

05)カムスプロケットの変更及び加工可。

06)カムチェーンガイドローラーの変更可。

06)バルブスプリング及びリテーナーの変更可

07)バルブの加工及び変更不可、但しシートカットによる端面調整に限り加工可

08) キャブレター及びマニホールドの変更可、FI 車はインジェクターの変更及びサブコンの併用可。FI エンジンのキャブレター化は当面禁止とする※キャブエンジン(ヘッド)のFI化は可。

09)ポート拡大可

10)「ホンダ純正の鉄シリンダー」であること、但し極一部に純正採用されたアルミシリンダーはこの限りではない(オーバーサイズ 0.5mm までは拡大可)

11) ピストン交換以外での圧縮比アップは不可(面研やガスケットの厚み変更、加工は不可となります)

【4st50-MC クラス 変更可否詳細・腰下編】

01) クランクシャフト及びコネクティングロッドの変更可、加工は不可(排気量は50ccを厳守の事)。

02) カムテンショナーはホンダ純正の範囲で変更可

03) カムテンショナーローラーの変更可

03) クラッチ本体の変更及び加工可

04) オイルポンプの変更可

05) プライマリギアの変更及び加工可

06) フライホイール及びステータコイルの変更及び加工可

07) トランスミッションの変更可、但し4速までとする、シフトパターンの変更可

- 08) クランクケース加工不可、但しミッション関連の干渉による軽微な加工は可。
- 09) 2次クラッチへの変更不可
- 10) オイルシールのスプリング抜き等の加工不可

【4st50-MC クラス 変更可否詳細・その他】

- 01) CDI の変更可
- 02) スパークプラグの変更可
- 03) イグニッションコイル及びハイテンションコード、プラグキャップの変更可
- 04) ボルト類の変更可
- 05) オイル銘柄及びグレードの選択、オイル添加剤の使用も特に規定無しとする。
- 06) ガソリンはガソリンスタンドで一般的に入手可能な市販品を使用する事。
- 07) ガソリン添加剤の使用可、但しバルボークなどに代表するいわゆる有鉛化添加剤は使用禁止。
- 08) エンジン載せ換えは不問とする。
- 09) ボルトオン装着可能なオイルクーラーの装着可、FI 車に限りオイルクーラーの装着に関わる加工のみ可。

【特例】

- 1) プッシュロッドエンジンハンディ⇒排気量 75ccまでの排気量アップを許可する、又テレスコフオークの装着も許可する。
- 2) Z50A 等のリジットモンキーは排気量 75ccまでの排気量アップを許可する。
- 3) 但しその他のパーツ変更等は総合エンジン規則を遵守の事。

上記以外の新車時同仕様の純正部品以外への交換及び加工は固く禁ずる。

上記ルールは大人のマナーとして必ず遵守するようお願いいたします。「ライダーが遅いからばれないでしょ」は絶対にやめて下さい。

レース後レギュレーション違反が発覚したチーム及びライダーはモン Cub 耐より永久追放の処分とさせていただきます。

※ 全ての判断は競技長に委ねられる。またその判断に対する抗議は一切受け付けない。
規則の可否詳細については「Cuby」(0532)26-8006 までお問い合わせ下さい。